

学校ミニだより



全国公開研究会

第48号

令和2年2月12日

東京都立中野特別支援学校長 山賀出穂

先週、「児童・生徒に応じた支援の在り方について」というテーマで、小学部は「コミュニケーション」、中学部は「言語活動」、高等部は「卒業後」をキーワードとして、全国公開研究会を行いました。保護者の皆様には短縮授業の御協力をいただき、ありがとうございました。北海道から鹿児島まで、46名の全国の特別支援学校、特別支援学級、高等学校等の先生方が参加されました。

午前中は授業見学、午後は研究成果の発表、意見交換、講師による講演（学部ごと）を行いました。各校の実践の紹介、本校での実践での工夫点などの情報交換をしました。参加者から、教材を工夫している、情熱をもって指導している、笑顔で楽しそうに子供たちに接しているという感想をいただきました。講師の先生からは、児童・生徒が成長しているとのお話もありました。

全国の先生方からいただいた情報や御意見、研究・研修の成果を明日からの指導に生かし児童・生徒の一人一人の力を高めていくよう努力していきます。また、昨年同様、児童・生徒の挨拶や高等部生徒の接客態度（会場案内、お茶出し、コート預かり）が良かったと多くの参加者からお褒めの言葉もいただきました。（山賀）

